

総務課からのお知らせ

問合せ先 68-2111 E-mail:soumu01@town.shichinohe.aomori.jp

青森県内で交通死亡事故が多発！！

昨年12月中は青森県内各地において交通死亡事故が多発しました。路面の凍結時や視界不良時は、運転者は無理をせず、ゆとりを持って運転しなければなりません。重大な事故を起こすと取り返しのつかないこととなります。

次のことに気を付け、冬道の悪条件を考慮し、安全運転を心がけましょう！

飲酒運転の根絶 十分な車間距離と高スピードの抑制
急ハンドル、急ブレーキの抑制 夕暮れ時のライトの早め点灯推進

飲酒運転は厳罰！

- 酒気帯び運転者…罰則 1年以下の懲役または30万円以下の罰金
違反点 6点(0.15以上0.25mg/未満)、13点(0.25mg/以上)で免許停止！
- 酒酔い運転者…罰則 3年以下の懲役または50万円以下の罰金
違反点 25点→免許取消し！！
- 自動車の使用者等(事業主や安全運転管理者など)が飲酒運転を下命、容認すると、同等の罰金が科されます。



二ツ森 徳 雄さん
(元天間林村消防団副団長)

受章おめでとございます

秋の叙勲伝達式が11月27日、青森県庁において行われ、永年にわたり消防団員として地域安全の確保に努め、功労者としての功績が認められた二ツ森徳雄さんに、内閣総理大臣から瑞宝単光章が授与されました。

町民課からのお知らせ

問合せ先 町民課 68-2112 E-mail:chomin01@town.shichinohe.aomori.jp
支所庶務課 62-2111 E-mail:shomu01@town.shichinohe.aomori.jp

源泉徴収票が送付されます

国民年金・厚生年金・共済組合などの老齢年金や退職によって受ける年金は、所得税法で雑所得とされて所得税の課税対象となります。このうち国民年金、厚生年金に関する源泉徴収票は1月末頃までに社会保険庁から送付されます。

(障害年金や遺族年金を受給されている方へは非課税のため送付されません。)

複数の年金を受けていたり、年金以外の所得のある方は、確定申告が必要となります。

それ以外にも医療費などの控除を受ける方は、この源泉徴収票を税務署へ提出することになります。詳しくは社会保険事務所にお問合せください。

なお、源泉徴収票の再発行に関しては「ねんきんダイヤル 0570-07-1165」へも問合せできます。

- ◆1月の納付相談日 19日(金) 柏葉館 11時～15時
- ◆1月の移動年金相談日 24日(水) 柏葉館 11時～14時30分

公共下水道加入促進のお願い

町では、快適な生活環境の確保と公共水域の水質保全のため、下水道の整備を進めています。

供用開始された地区では家庭雑排水「台所・風呂・汚水等」を側溝に流すことは原則としてできませんので、排水設備工事を行い公共下水道への速やかな接続をお願いします。

なお、供用開始から3年以内に排水設備工事を完了した場合には加入促進奨励金・6万円を交付します。
(交付要件があります)

排水設備工事は、町指定工事店で行ってください。

下水道の維持管理は家庭から

下水道施設には油が一番の大敵、動植物油脂類の流入により下水道施設に障害を生じる、食用廃油などは、下水道には絶対流さないようにしましょう。

「下水道の日常の心がけ」

- 1、油やマヨネーズ、ソース、カレーなどの汚れのひどい食器や鍋は、紙などで拭き取るか、へらでかき取ってから洗いましょう。
- 2、使い古しの天ぷら油は、油こし器を使って炒め物に使うか、使わなくなったら牛乳パックに新聞紙や古キレを詰め込んで染み込ませてから処分しましょう。
- 3、水洗トイレでは、トイレットペーパー以外の紙は使用しないでください。また、**紙オムツ・生理用品**などを流さないでください。
- 4、野菜くずや、ご飯の残りなどは流さないでください。
- 5、有リン洗剤はなるべく使用しないようにしましょう。
- 6、排水設備器具や、マスなどは定期的に点検し、ゴミなどを取り除き清掃しましょう。

マンホールポンプから警報が…

最近、公共下水道・農業集落排水のマンホールポンプ施設から警報が多く、ポンプ引き上げ作業を行うと、水に溶けない物が絡まって汚水を排出できない状態にあります。トイレや台所の排水口から、水に溶けない物を流すとポンプや管に「損害を与える」「詰まる」などの障害を起こしますので、水に溶けるかどうか注意しましょう。

実際にマンホールポンプへ流れてきた物は、**紙オムツ・生理用品**などです。



除雪作業員も一生懸命がんばっています。 除雪作業にご協力を！



作業中の除雪車には 30m以内に近寄らないで下さい。

除雪車は重機械であり、前後10m位は死角となります。また、雪の中に混じっている碎石、ガラス等が飛び散る場合もありますので30m以内には近寄らないようお願いいたします。



深夜作業にご理解を。

除雪及び排雪作業は交通渋滞をひきおこさないために、交通量の少なくなった夜間、早朝に行われます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解下さい。



道路に雪を捨てないで下さい。

除雪車でよせた雪を道路に戻したり、各家庭の雪を道路に押し出したりしないで下さい。



路上駐車はやめましょう。

路上の駐停車は除雪の妨げになります。決められた場所以外での駐停車はやめましょう。また、故障などでやむをえず路上に置くときは、目印に赤旗等を立てて下さい。



通行規制にご協力を。

除雪及び排雪作業を、迅速に、安全に進めるために一時通行止めにする場合があります。ご理解とご協力をお願いします。



雪道走行での 3 つの注意

4WD車でも制動距離はFF車と同じです。過信しないように気をつけて下さい。

発進時は、ゆっくりと慎重に！



◆オートマチック車
クリープ（はいずり）現象を利用し、ある程度の加速がつくまでエンジン回転は1,000回転以下を保つ。

◆マニュアル車
エンジン回転を1,000～1,200回転に維持した、微妙なクラッチワークがコツ。

カーブ手前で十分に減速を！



◆カーブでは、遠心力がクルマをカーブの外に飛び出させようとします。それを防ぐのがタイヤと路面との摩擦力。遠心力は、クルマの速度が速くなるほど強くなります。

◆冬道は、タイヤと路面の摩擦力が極端に少なくなり、カーブの外に飛び出しやすくなりますので特に注意が必要です。カーブに入る前に十分に減速する「スロー・イン」で安全走行をしましょう。

怖い下り坂！



◆下り坂の途中でブレーキを強く踏んだり、不用意なシフトダウンはスリップをまねきます。下りに入る前に、十分な減速と、適切なギアにシフトダウンをして、エンジンブレーキを効かせながら下りましょう。

◆上り坂の途中でシフトダウンしたり加速をすると、登れなくなったり、尻振りスリップをまねきます。上りに入る前に、あらかじめ適切なギアにシフトダウンしましょう。

第2回七戸町青少年育成推進大会開催!

青少年育成七戸町民会議(立崎義行会長)は11月23日、「地域の青少年は、地域で守り・育てよう」のスローガンのもと、中央公民館において第2回七戸町青少年育成推進大会を開催し、会場には130人もの関係者が詰めかけました。

『ネットの落とし穴』と題した講演では、県教育庁の坂本達雄主幹より“いじめ”や“自殺”などの教育問題や、地域の防犯対策、また、「インターネット社会は巧妙な手口のトラブルが増加している」と注意を促しました。



その後、「青少年からみた地域社会と健全育成」と題し、町内の中高生の代表によるパネルディスカッションがコーディネーターである倉本貢さんの進行のもと行われ、地域に密着した活動や健全育成・地域の大人に期待することなど、自分の意見を交えた発表を行いました。その中では、地域活動への大人の参加や通学路の安全のための街路灯設置など、積極的な提案がなされました。

次世代を担う子どもたちの貴重な意見に大会参加者は「危機感をもって活動を展開していかなければ」と決意を新たにしていました。



町のイベントを企画しよう!

平成18年度七戸町「子ども」フォーラム



イベントの意見について活発に発表

町村合併後、第2回目となる七戸町「子どもフォーラム」が12月16日、中央公民館において開催されました。

今回のフォーラムは、子どもの視点で町をPRするイベントを企画して話し合い、児童間の交流を深めるとともに、ふるさとを愛する心を育むことを目的として行われ、町内の小学生や学校関係者あわせて約200人が参加しました。

コーディネーターに上北教育事務所の三上和一社会教育主事を迎え、各学校から選ばれた8人のパネリストが立案したイベント企画案を中心に意見交換が行われました。



イベントの企画案を発表した8人のパネリスト

特産品を利用した「ながいも早すり大会」、自然・歴史文化を利用した「知ろう!学ぼう!ふるさと七戸」、新しいものを取り入れた「七戸イメージアップ大作戦」、複合的イベントとして「馬車に乗って七戸満喫ツアー」と大きく4つのイベント案が出され、参加した児童たちはそれぞれのテーマごとに活発な意見を発表しました。

アドバイザーとして参加した新谷教育長は「町側は、児童たちが提案した企画内容をいくらかでも採用して欲しい」とお願いし、また、小又助役は「次から次へとアイデアが出てうれしい。町でも皆さんの企画が実現できるように努力します」と述べました。

～七戸町文化協会合併記念文化講演会～



講師の渋谷伯龍さん



講演を聴きいる参加者

『まめしく、さがしく、あずましく』

—たのしいふる里ことば—開催

まめしく…元気よく、さがしく…賢く、あずましく…気持ちよく

七戸町文化協会（瀬川新吉会長）は12月20日、津軽弁研究の第一人者であり、川柳作家としてテレビやラジオなど幅広い分野で活躍中の渋谷伯龍さんを講師に招き、柏葉館において合併記念文化講演会を開催しました。

町コミュニティ推進地区連絡協議会共催のもと、この日会場には約100人と大勢が詰めかけ「青森方言のルーツは大和言葉である」など普段慣れ親しんでいる方言の奥深さや、津軽弁で詠まれた子どもたちの俳句、自身の川柳などを紹介。時折、参加者へ方言の質問をしたり、体験談を楽しく交えたりと笑いが絶えない様子でした。

客席では「あの方言の意味はなんだったかな」「久しぶりに聞いた言葉だ」など隣同士で顔を見合わせ、巧みな方言をつかった懐かしさあふれる講演に自然と笑みがこぼれていました。

シリーズ

男女共同参画ってな～に？

『我が家のひとり言』

我が家の娘が高校時代、女の子2人に男の子2人の友達を連れてきた。男の子のひとはボーイフレンドだと聞いた途端、顔はにこやかにしながら、腹の中では煮えくりかえった。「なんだ、あの茶髪は。あれでも、天下のH高校か」茶髪を許している先生方にも腹がたった。もう一人のH君は、中学時代からの同級生で、性格・マスク・頭よし、親も良く知っていて文句のつけようがない。つい、顔がほころび「や～よくきたね」と愛想を振りまく。我ながら、このギャップには驚く。もっとも、女の子の友達や性格の良いH君がいっしょにこなければ、玄関先で追い返しかねない父親なので、娘の作戦勝ちだ。

テレビドラマなどで世の男親が娘のボーイフレンドに口出しするのを見て、なんと愚かな行為だと思っていたが、いざ自分のことになると、このざまである。面目ない。こんな私に、男女共同参画について書いてとお願いされても、その資格はないのではとってしまうのである。

なぜ今、男女共同参画か。男女がお互いの足りない所を補い、仲良く、自然に、平等につきあえるようになれば良いのに、そうっていないから、取り上げられているのか。

我が家の息子は、料理が好きで、日曜日は、馬鹿の一つ覚えのように家族のために卵焼きを焼きたがる心根が優しい小学5年生だ。大きくなっても、妻と協力して幸せな家庭を築いてほしいと願うのは、親ばかりだろうか、それとも、親としては至極あたりまえの願いなのだろうか。こんなことをいちいち気にしなくても良い時代が来ることを望む。

●●●男女共同参画社会とは●●●

「男は仕事、女は家庭」というような性別による固定的な役割分担にとらわれずに、女性と男性が対等なパートナーとして、自らの意志で、職場・学校・地域・家庭などのあらゆる分野に参加する機会が確保され、それぞれの個性を発揮し、喜びと責任を分かち合うことのできる社会をいいます。

寄稿 NPO法人 青森県男女共同参画研究所 <http://www.gender-ken.or.jp>



「大切に使ってください」とぞうきんを手渡す

向町老人クラブが 七戸中学校へ ぞうきんを寄付

向町老人クラブ（山本順治会長）は12月4日、七戸中学校へ手作りぞうきん210枚を寄付しました。

七戸中学校では、年度始めに生徒一人あたり2枚のぞうきんを各家庭にお願いしていますが、この時期となるとぞうきんが不足しがちで、毎年、向町老人クラブからの温かい寄付により生徒たちは大変助かっています。

この日は、生徒会環境委員長である竹内瑛希さんが代表で受け取り「こんなにたくさん頂いてとてもうれしい。校舎内を隅々まで掃除したい」とお礼を述べました。

”クリスマスおはなし会” が開催されました。



七戸中央図書館で12月17日、クリスマスおはなし会が開催されました。

この日の「おはなし会」には約40人の親子が集まり、図書館ボランティアによるハンドベルとピアノの演奏や、『ふゆのよるのおくりもの』『てぶくろ』の読み聞かせ・歌などで楽しみました。

また、子どもたちの歌にあわせ登場したサンタクロースが『まだから★おくりもの』の読み聞かせをし、最後に参加した子どもたちへ、プレゼントを手渡しました。もらった子どもたちは、笑顔でとてもうれしそうでした。

かわいいサンタがやってきた こども赤十字代表が募金

道ノ上保育所の園児代表4人（佐藤礼弥くん、坪歩美ちゃん、松山晋也くん、上原子詩織ちゃん）は12月12日、役場を訪れ、福士町長に募金1万7千117円を手渡しました。

この募金はこども赤十字の一環として、12月9日に行われたお遊戯会で園児たちが保護者などから集めたもので、この日は、かわいいサンタクロースの格好で来庁。「困っている人のために役立ててください」とお金の入った箱を大事そうに渡しました。

受け取った募金は、NHK海外たすけあい義援金として、日本赤十字青森県支部へ送金されました。



七戸町民大学の 開催について

七戸町民憲章の誓いの一言「教養を身につけ、心豊かに暮らします」を基本に、心豊で潤いある生活を創造できる町民像を目指して開催してきた町民大学も、今年が今年度最後となります。最終回（第4回目）は、地球環境と省エネルギーについて考えたいと思いますので、町民多数のご参加をお待ちしております。

なお、託児所（1歳半から就学前のお子さん）を準備いたしますので、希望者は1月22日 までにお申し込みください。

◆開催日時

平成19年1月27日
午後1時30分～午後3時30分

◆テーマ 「地球環境とエネルギー」
◆講師 寺尾 千之 氏

◆開催会場 （消費生活アドバイザー）
七戸南公民館 集会室

◆受講料 無料
◆対象 どなたでも受講できます

◆主催・問合せ先
七戸中央公民館

七戸南公民館
68-2920
62-2118

★新着図書を紹介★

【中央図書館】

No.	書名	著者名
1	月下の恋人	浅田次郎
2	四度目の氷河期	荻原浩
3	息がとまるほど	唯川恵
4	新・風に吹かれて	五木寛之
5	鏡の法則ー人生どんな問題も解決する魔法のルールー	野口嘉則
6	薪ストーブと暮らす	
7	シニアのための おいしい電子レンジ料理	岡本雅子
8	生き方がみつかると青春の読書案内 ー読んでおきたい心をゆずる日本の名著・名作100冊ー	小川義男
9	へんしんコンサート	あきやただし
10	ほくにもそのあいをください	宮西達也
等 一般書 29冊 児童書 39冊 (11/14~12/12購入・寄贈分)		

【中央公民館図書室】

No.	書名	著者名
1	読む力・聴く力	河合隼雄 立谷花川俊太郎
2	結婚失格	枘野浩一
3	紗央里ちゃんの家	矢部嵩
4	桃の花	立松和平
5	均ちゃんの失踪	中島京子
6	北風のわすれたハンカチ	安房直子
7	くまちゃん、どこいくの	もりやまみやこ
8	しっぽ5まんえん	清水俊伯(作) 岡本颯子(絵)
9	おおきなもののすきなおうさま (大型絵本)	安野光雅 (作・絵)
10	でんしゃでいこうでんしゃで かえろう (大型絵本)	間瀬なおかた (作・絵)
等 一般書 41冊 児童書 47冊 (11/11~12/11登録分 寄贈図書を含む)		

今月の休館日・・・1日、2日、3日、8日

図書館・図書室は、祝日、年末年始を除き、土曜日・日曜日にも毎日開館しています。



《俳句》

見つめれば見つめ返して鬼女案山子
福士岬人

唐辛子戸毎に吊りて一揆の地
小林凡石

樽洗ふ亀の子束子冬に入る
川村亜輝子

捨てるものまたしまひつつ冬支度
和田馴二

《川柳》「月」

年老いて変わらぬものは月あかり
京子

満月に虫の声聞きする瞑想
征治

十五夜の団子小さい老いの窓
陽湖

月夜茸夜空に光り熊を呼ぶ
布実

《短歌》

小春日の庭にて球根植え付けす
一粒一粒目に測りつつ
沢橋美沙

霜月や畑のあば菊一夜にて
茶色に枯れて哀れあわれぞ
瀬川翠蛙

雨上り散りしくもみじ色冴えて
香り立ちきて秋陽呑む庭
宮沢崇子

屯する下校の児等のバス停へ
乗れば車内の活気づきたり
内山涼子

あけすけなお国訛も飛び交ひて
振り向かれてゆくわれらが道中
佐藤悠一

山深く落ち葉踏みゆけば足元に
温もり還るはからひのやうに
高田洋子

煌々と初日の光身に受けて
健やかなれと一年の計に
崎崎アイ子

この仕事天職なりと語りつつ
若き介護士のやさしき笑顔
原信子



ホワイトバトル2007 in しちのへ

- 日 時 平成19年2月4日
午前9時 試合開始
- 場 所 中央公園
- 参加料
小学生低学年(8チーム)、
小学生高学年(24チーム) 3,000円
レディース(8チーム)、
一般(36チーム) 5,000円
- 申込締切 平成19年1月17日
※ただし、定員になり次第締切ります。
- 申込み・問合せ先
ホワイトバトル実行委員会
(商工観光課内)
62-9703 FAX 62-6256
E-mail:shoukan01@town.
shichinohe.aomori.jp

ナイタースイミング開催

- 日 時
平成19年2月1日、2日、8日、9日、15日、
16日、22日、23日、3月1日、2日
→計10回
※木・金曜日の午後6時30分
～7時30分
- 対象者 18歳以上の町内在住者及び
町内に勤務している者
- 定 員 先着40名
- 参加料 500円(保険料として)
※入館料は無料とする。
- 携帯品
水着・水泳キャップ・水中メガネ
- 募集期間 平成19年1月4日～1
月26日 まで
- 申込方法 所定の申込用紙に必要事項
を記入し、屋内温水プール、天間林体
育館、七戸体育館、スポーツ振興課い
ずれかの窓口で、参加料500円を添え
て申し込んでください。
- 問合せ先
天間林体育館 68-4303
E-mail:sports02@town.
shichinohe.aomori.jp

平成18年度 レディーススキー教室開催

- スキーの魅力と楽しさを体験してみま
せんか。教室では初めてスキーをされる
方も歓迎いたします。
- 日 時 平成19年2月1日、6日、
9日、11日、15日、20日
午前10時～12時
 - 場 所 町営スキー場
 - 募集人員 初心者・初級、
中級コース 合計20名
 - 講 師 町スキークラブ指導員
 - 締 切 平成19年1月19日
 - 準備するもの スキー用具一式
※リフトなどの使用料は自己負担とな
ります。
 - 問合せ先
七戸南公民館 62-2118

しちのへ農産物加工友の会 会 員 募 集 !

- しちのへ農産物加工友の会では、平成
19年新規会員を募集しています。左組
地区の農産物加工開発研修センターで、
安心できる加工品を自分の手で作って
みませんか?町内に住所を有する方であ
れば、どなたでも会員になることができ
ます。興味のある方はこの機会にぜひお申
し込みください。
- 加工できる物
味噌、麴、豆腐、タレ、餅、ジュース、
製粉、乾燥物、缶詰め、瓶詰め など
 - 年会費
1,000円(1月～12月まで)
※年中受付しています。
 - 申込み・問合せ先
農林課 68-2116
E-mail:nourin01@town.
shichinohe.aomori.jp

あづま 集んべの会がチャリティー バザー 益金を寄付

野々上町内会の有志で組織されている
「集んべの会」(西野徹代表、会員15名)
は12月3日、旧野々上小中学校の校舎に
おいてチャリティーバザーを開催し、多
くの来場者でにぎわいました。
同月11日には、福土町長を訪れ、西
野徹代表、中村瞬さん、浦田健太さんが
「町の教育振興のために使ってください」
とバザー益金の一部を寄付しました。



合同特設行政・人権相談所開設

- 困りごと・悩みごと・いやがらせ等人
権の擁護に関すること、行政に対する苦
情・要望・意見等に関する事など、一
人で悩んでいないでお気軽にご相談く
ださい。
- 日 時 平成19年1月10日
午前9時から正午まで
 - 場 所 七戸町役場2階会議室
七戸庁舎1階相談室
※本庁舎・七戸庁舎 同日に相談所を
開いています。
 - 相談料 無料《秘密厳守》
 - 相談員 行政相談委員・人権擁護委員
 - 問合せ先
町民課 68-2112
E-mail:chomin01@town.
shichinohe.aomori.jp
支所庶務課 62-2111
E-mail:shomu01@town.
shichinohe.aomori.jp

「あんべっこいいなあ…」「おいしいそば屋があるって聞いて来ました」「すっごくおいしかったです」「また来ます」「初めて
こんなおいしいそばを食べました。有り難うございました」「どうすればこんなおいしいそばになるんでしょう」等々

私の心に残るお客様の一言ひとこと

本物のおいしいそば作りに、ひと筋にひたむきに挑戦しています。

そば処 街 道

営業：11:30～14:00 定休日：土曜日 代表：山田 悠治
七戸町字森ノ上204-2 (みちのく銀行天間林支店向) TEL: 68-3339

中部上北消防本部から 救命講習会 開催についてのご案内

あなたも‘AED’の操作法を学んでみませんか？

心臓が停止している状態の人に、電気ショックを与える‘AED’という器械が一般町民の方でも使用できるようになりました。

管内公共施設などにも設置され始めています。

◆中央消防署 62-3141

○日時 平成19年2月4日
13時～16時まで

○募集人員 50人

◆上北消防署 56-2119

○日時 平成19年2月11日
13時～16時まで

○募集人員 30人

◆東北消防署 0175-63-2520

○日時 平成19年2月18日
13時～16時まで

○募集人員 30人

※どの会場も受付期間は

平成19年1月1日～1月31日

までとなっております。

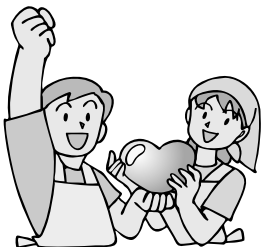
※受講人員は、募集人員になり次第、締め切らせていただきます。

○対象者 中学生以上の方

○受講料 無料

○受付 各消防署窓口

※申込書に記入していただきます。



放送大学 4月入学生募集！

放送大学では、平成19年度第1学期（4月入学）の学生を募集しています。

放送大学はテレビやラジオの放送を利用して授業を行う通信制の大学です。心理学・福祉・経済・歴史など、幅広い分野を学べます。

●15才以上の方なら、1科目から学習する選科履修生・科目履修生として入学できます。

●18才以上の大学入学資格をお持ちの方なら、無試験で全科履修生として入学でき、4年以上在学して124単位以上を取得し、卒業すると、学士（教養）を取得できます。

●体系的にひとつの分野を学べるように大学が指定した科目群から一定数単位を取得した方に、認証状を差し上げます。

さらに専門的に学びたい方には、大学院も併設しています。

資料を無料で差し上げています。お気軽にお問い合わせください。

募集期限

平成19年2月15日 まで

○資料請求・問合せ先

放送大学青森学習センター

0172-38-0500

八戸サテライトスペース

0178-70-1663

放送大学HP：

<http://www.u-air.ac.jp>

七戸町文化賞 ・スポーツ顕賞 候補者の推薦について

平成18年度文化・スポーツで活躍された方々で、一般・大学生について次の規定に該当される方がありましたら、推薦くださるようお願いいたします。

なお、県内高校・町文化協会及び町体育協会には推薦を依頼しております。

表彰規定

☆文化賞（芸術、学術）

文化賞

全国規模の展覧会、発表会等で特に顕著な業績を示したものの

文化功労賞

永年にわたり文化の向上発展に貢献したものの

文化奨励賞

文化の向上発展に貢献したものの

☆スポーツ顕賞

スポーツ功労賞

スポーツの普及振興につくしたものの

スポーツ賞・スポーツ優秀賞

競技スポーツの分野で優秀な成績を修めたものの

生涯スポーツ奨励賞

生涯スポーツの分野で優秀な成績を修めたものの

※推薦期限：平成19年1月15日

【問合せ先】

文化賞：生涯学習課 62-9702

E-mail:shogaku01@town.

shichinohe.aomori.jp

スポーツ顕賞：スポーツ振興課

62-9706

E-mail:sports01@town.

shichinohe.aomori.jp

毎日一本、良い習慣。

申し込みは 電話62-2372 明治七戸宅配センター
一週間お試しできます 七戸川内 大久保冷蔵

歓送迎会等各種御予約承ります
2名様～80名様迄

日本料理



杉屋敷 奥山

奥山 剛

〒039-2523 青森県上北郡七戸町字影津内111
TEL (0176) 62-6077・FAX (0176) 62-3117



十和田東クリニック ・十和田東病院 無料送迎バス運行のお知らせ

平成18年10月より「患者さん通院用無料送迎バス」を運行しておりますので、どうぞご利用ください。

七戸町方面の運行は下記のとおりです。

毎週 月曜日・午前 →野辺地町方面

(七戸地区国道4号、天間林地区国道4号 経由)

毎週 火曜日・午前 →七戸地区方面

毎週 木曜日・午前 →東北町方面

(七戸地区国道4号、天間林地区中野、東北町乙供駅、上北駅、新館バス停、国道4号七戸高校入口 経由)

毎週 土曜日・午後 →七戸地区方面

※運行時間、停留所など詳しいことは電話にてお問い合わせください。

○問合せ先

十和田東クリニック 22-0011

一方的に機関誌・雑誌が送られ 購読料を請求されていませんか

最近、全国的に暴力団、エセ右翼、エセ同和等反社会的勢力から業界紙、図書等注文もしないのに送られ、代金を請求されるケースが多くなっています。相手が相手ですから後日の紛争防止のために次のような対応方法がベターです。

1. 電話勧誘の段階できっぱりと断る!

購入するのも断るのも自由です。買いたくなければきっぱりと「いりません」などと断ることで。

2. 受取拒否で返送する!

開封していない場合、宛名の欄に「受取拒否」と付せんで朱書きして配達人へ返戻する。

不在時に配達された場合は「受取拒否」と付せんで朱書きして郵便局・ポスト投函・宅配業者へ返戻する。

開封した場合は購読拒否の意思表示を明確にした上で、書留郵便で返送する。内容証明郵便で通知する方法もあります。

○問合せ先

暴力団追放青森県民会議

017-723-6250

設備貸与制度 (割賦・リース)のご案内

中小企業の公的な支援機関である財団法人21あおり産業総合支援センターでは、県内中小企業者の皆さまの設備投資を応援するため、低金利(割賦損料:年率1.9%あるいは2.3%、リース料:月額1.362%~2.982%)・固定金利で設備貸与制度(割賦・リース)を実施しております。平成18年4月からは連帯保証人が代表者のみの選択も可能になり、より利用しやすくなっております。対象となるのは機械、装置、車両など(土地・建物は対象外)です。設備の導入を検討されている方は設備投資課までお問い合わせください。なお、制度の概要については、当財団ホームページからもご覧いただけます。

○問合せ先

財団法人21あおり産業総合支援センター 設備投資課

017-775-3234

HP:<http://www.21aomori.or.jp/>

平成19年度 三沢基地モニター募集

航空自衛隊三沢基地では、基地周辺住民の方々で、自衛隊及び防衛問題に関心がある方の中から基地見学などを通じ、ご意見及びご要望をお聞きするために、三沢基地モニターを募集します。

○募集年齢

上十三地区の20代~50代の男女

○委嘱期間 平成19年4月~平成20年3月までの1年間

○活動内容

各種行事及び職場見学など
大型ヘリコプター体験搭乗など
アンケート調査及びモニター会議

○申込先

はがきに住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記のうえ、ご送付ください。

○締切日 平成19年2月28日

○問合せ先

〒033-8604 三沢市後久保125-7
航空自衛隊三沢基地渉外室広報班
53-4121 (内線3313) 中村

平成19年度県政モニターを 募集しています!

県では、アンケートを通じて県民の皆さまから意見・要望などをお聞きし、施策の企画・立案の参考にするため県政モニターを募集しています。

○応募資格

県内にお住まいの満20歳以上の方

○募集人員 90名程度

○期間

平成19年4月下旬からおよそ2年間

○仕事 アンケートに対する回答

○応募方法 必要事項を記入して、はがきまたは電子メールでお申し込みください。

◆必要事項◆住所、氏名(ふりがな)、性別、生年月日、職業、電話番号、希望理由、各種モニターの経験、電子メールアドレス(ある場合)

○応募締切 平成19年1月31日

○申込み・問合せ先

〒030-8570 青森市長島1丁目1-1
青森県企画政策部 政策調整課
広報広聴グループ 県政モニター係
017-734-9138 (直通)

E-mail:koho@pref.aomori.lg.jp

公立小川原湖青年の家主催 真冬の野外体験

○期日 平成19年2月17日

~2月18日 1泊2日

○場所 公立小川原湖青年の家など

○募集人員 一般50名

(中学生以下引率者必要)

○参加料 2,500円(保険料500円含)

○内容

スキーハイキング(歩くスキー)
ナイトショー(マジック)

○持ち物 スキー一式、防寒具、着替え、室内用ズック、洗面用具

※貸出用スキーもあります。

○締切 平成19年2月13日

(電話・FAX等にてお申し込みください)

○問合せ先 〒039-2402

東北町大字大浦道の下104-6
小川原湖青年の家

56-2393 FAX 56-5042

E-mail:o-seinen@smile.ocn.ne.jp

町の統計

平成18年11月30日現在

男	9,119人	(+ 1)
女	9,726人	(- 2)
計	18,845人	(- 1)
世帯数	6,788世帯	(- 13)
	()内は前月比	

★交通事故

件数	8件 (85件)
傷者	12人 (119人)
死者	0人 (0人)

★町内の火災

建物	0件 (7件)
林野・その他	0件 (9件)

11月30日現在

()内は1月からの累計

~~~~~

# Information

## 広告掲載事業の導入についてのお知らせ

町では、新たな財源を確保するために、印刷物や公共施設などへ有料広告を掲載することにいたしました。

平成18年度は試行期間とし、今月号からお知らせページ下段に広告を載せます。また、5月号からは町内外の事業者によく呼びかけて実施する予定です。

厳しい財政状況下、町民の皆さまが安心して暮らすことができるまちづくりを目指し、現在、行政事務の改善、効率化に取り組んでおり、また同時に、歳入の確保についても努力しています。

広報などに広告が掲載されることに対して違和感を覚えるかもしれませんが、本事業の趣旨にご理解いただきますようお願いいたします。

◇問合せ先◇ 財政課 68-2117

## 戸籍の窓口

11月16日～12月15日

### ◎お誕生おめでとございます

| 子ども                       | 母親                    | 住所    |
|---------------------------|-----------------------|-------|
| 小舘 結菜 <sup>ゆうな</sup> ちゃん  | 純代 <sup>じゅん</sup> さん  | 蛇坂    |
| 白石 優萌 <sup>ゆめ</sup> ちゃん   | 奈つ美 <sup>なつみ</sup> さん | 野続    |
| 中山 陸人 <sup>りくと</sup> くん   | 直子 <sup>なおこ</sup> さん  | 上ノ山   |
| 成田 泉 <sup>いづみ</sup> ちゃん   | 真由美 <sup>まゆみ</sup> さん | 前川原   |
| 倉岡 莉穂 <sup>りほ</sup> ちゃん   | 順子 <sup>のりこ</sup> さん  | 倉岡    |
| 佐藤 輝一 <sup>きいち</sup> くん   | 繭美 <sup>まゆみ</sup> さん  | 舘野    |
| 加賀蒼志郎 <sup>そうしろう</sup> くん | 真美子 <sup>まみこ</sup> さん | 石沢    |
| 山本 悠真 <sup>ゆうま</sup> くん   | 香奈子 <sup>かなこ</sup> さん | 貝ノ口   |
| 大池ちひろ <sup>ちひろ</sup> ちゃん  | 江梨子 <sup>えりこ</sup> さん | 影津内   |
| 小笠原虹羽 <sup>こう</sup> ちゃん   | 郁子 <sup>いくこ</sup> さん  | 笹田川久保 |
| 蛭名 歩稀 <sup>ほまれ</sup> ちゃん  | 奈津子 <sup>なつこ</sup> さん | 鶴児平   |
| 早坂 七穂 <sup>しほ</sup> ちゃん   | 由紀 <sup>ゆき</sup> さん   | 長沢    |

### ◎ご結婚おめでとございます

|                         |     |
|-------------------------|-----|
| 飯村 靖夫 <sup>しずと</sup> さん | 東京都 |
| 江莉奈 <sup>えりな</sup> さん   | 天神林 |

( 佐々木 祐一<sup>すけいち</sup>さん 貝ノ口  
中野渡 光子<sup>みちこ</sup>さん 和田市

### ●お悔やみ申し上げます

|                          |     |     |
|--------------------------|-----|-----|
| 齋 下 明美 <sup>あけみ</sup> さん | 36歳 | 蒼前  |
| 佐藤 クメ <sup>くめ</sup> さん   | 76歳 | 荒熊内 |
| 小倉 松雄 <sup>まつお</sup> さん  | 81歳 | 倉岡  |
| 坪 かね <sup>かね</sup> さん    | 85歳 | 坪2  |
| 天間 松二 <sup>まつじ</sup> さん  | 81歳 | 天間4 |
| 野川 ユキ <sup>ゆき</sup> さん   | 85歳 | 下野崎 |
| 中野 精一 <sup>しずく</sup> さん  | 78歳 | 花松  |
| 中嶋 はつゑ <sup>はつゑ</sup> さん | 90歳 | 長沢  |
| 大浦 たみの <sup>たみの</sup> さん | 93歳 | 道ノ上 |
| 築場 陸奥男 <sup>りくお</sup> さん | 69歳 | 倉越  |
| 石田 康泰 <sup>やすやす</sup> さん | 69歳 | 海内  |
| 白石 なか <sup>なか</sup> さん   | 84歳 | 白石  |
| 千葉 幸二 <sup>ゆきじ</sup> さん  | 51歳 | 榎林1 |

戸籍の窓口への掲載は、役場に届け出された時に、本人から確認できたものだけを掲載しております。

また、他町村に届け出し、「広報しちのへ」に掲載したい方は役場町民課町民係へご連絡ください。

68-2112 (内線214)

～子どもたちによる絵画展～ ■ 1月28日(日)まで好評開催中■

## 「第6回鷹山賞児童作品展」「第6回地球環境世界児童画コンテスト優秀作品展」

青森県南部地方の小中学校児童生徒に作品を公募した絵画コンテスト「鷹山賞児童作品展」は、今年で第6回展を開催、これまでで最高の応募総数1,050点の力作の中から選出された鷹山賞を頂点とする入賞・入選作品全121点を紹介し、また併せて、世界各国の子どもたちに地球環境をテーマに作品を公募した「地球環境世界児童画コンテスト」(財団法人日本品質保証機構主催)から優秀作品を展覧します。

発想も表現の仕方も柔軟で素直な子どもたちの作品を前に、私たち大人は思わず「ハッ」としたり「ウ～ン」となったり、忘れかけている大切な何かを気づかせてくれる、そんな子どもたちによる絵画展をぜひご鑑賞ください。皆様のご来館をお待ちしております。

### ■入館時間■

午前10時～午後5時30分(閉館は午後6時)

### ■1月の休館日■

定休日＝毎週月曜日

(但し、1/8成人の日は開館し翌日休館)

館内整備のため臨時休館

＝1月30日(火)～2月9日(金)まで

### ■入館料■

一般500円、高校・大学生300円、小・中学生100円

※20名様以上の団体、JAF会員、県民カレッジ

受講者は各2割引

### ■問い合わせ先■

鷹山宇一記念美術館 62-5858



第6回地球環境世界児童画コンテスト  
優秀作品展【海外最優秀賞】  
『汚染された町：通りを行き交う人々』  
Israt Ether (13才) バングラディッシュ

## まっしぐらの品種で 『みよこ米』できました。

近年、「健康」「安全」に対する消費者関心の高まりや、地球規模での環境問題、農業分野においても環境にやさしい栽培法などが求められているなか、町の農家では有機農業の町づくりを目指し、化学合成農薬と化学肥料の双方を50%以上減らした「こだわり特別栽培農産物」の栽培に力を入れています。

その農産物のうち、さらに化学肥料(窒素成分)を当地比で6割減とこだわって栽培したお米『みよこ米』が、昨年11月より単品販売されました。

新たな特産品育成の一部として町が推奨しており、品質・安全面ともに保証され、平成16年度からは学校給食にも取り入れられています。

自然の恵みに生まれ一粒一粒丹精込めて栽培された「みよこ米」を、皆さんも一度食してみてくださいはいかがでしょうか。

◆詳しいお問い合わせは・・・

とうほく天間農業協同組合 天間林支所営農センター

(68-3135) まで



(この広報は再生紙を使用しています。)